

平成 27 年度愛媛県計画に関する 事後評価

令和 7 年 1 月
愛媛県

3. 事業の実施状況

平成27年度愛媛県計画に規定した事業について、令和5年度終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業（病床の機能分化・連携）	
事業名	【27年度】No.1 病床機能分化連携基盤整備事業	【総事業費】 1,625,416千円
事業の対象となる区域	全県域	
事業の実施主体	医療機関、県医師会等	
事業の期間	平成27年4月1日～令和8年3月31日	
背景にある医療・介護ニーズ	医療機関等が行う病床の転換等を伴う施設・整備事業等に対して補助を行い、病床の機能分化・連携を推進する。	
	アウトカム指標： 高度急性期病床の機能強化を行った病院数：1 急性期病床の機能強化を行った病院数：2 回復期病床の機能強化を行った病院数：8	
事業の内容 (当初計画)	○病床の削減、転換等を伴う施設・設備整備 ○病床の機能分化・連携に関する事業 ○ICTを活用した地域医療ネットワークの基盤整備 等	5箇所 4箇所 2箇所
アウトプット指標 (当初の目標値)	高度急性期、急性期及び回復期病床を機能強化し、将来転換を促進する施設・設備整備数（7機関）	
アウトプット指標 (達成値)	高度急性期、急性期及び回復期病床を機能強化し、将来転換を促進する施設・設備整備数（3機関）	
事業の有効性 ・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標 → 確認できた 高度急性期病床の機能強化を行った病院数：0、急性期病床の機能強化を行った病院数：0、回復期病床の機能強化を行った病院数：3	
	<p>(1) 事業の有効性 回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟などへの病床機能の転換など、地域包括ケアシステム構築に向けた機能分化が図られた。</p> <p>(2) 事業の効率性 急性期から回復期、在宅医療に至るまで、一連のサービスを地域において総合的に確保できるように病床の機能分化が促されることが期待できる。</p>	
その他		